

防衛省仕様書改正票

D S P
Z 8701F(2)

国 旗

制定 昭和 48 年11月27日
改正 令和 5年 3月14日

(FLAG, NATIONAL)

この改正票は、DSP Z 8701F (国旗) についてのものであり、DSP Z 8701F (1) を含め累積記載されている。この改正票はDSP Z 8701F と併用される。

1.4 引用文書 中

- “JIS L 0844 洗濯に対する染色堅老度試験方法” を “JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法” に、
- “JIS L 0847 海水に対する染色堅老度試験方法” を “JIS L 0847 海水に対する染色堅ろう度試験方法” に、
- “JIS L 0849 摩耗に対する染色堅老度試験方法” を “JIS L 0849 摩耗に対する染色堅ろう度試験方法” に改める。

2.1 表2-材料 中

区分		規定		
旗生地		付表1による。		
旗ひも	祝日用, 通常用, 荒天用	綿組打ちひも	直径約0.6cm	
	部隊用		直径約0.4cm	
ナイロンテープ	通常用, 荒天用	幅約0.9cm, 引張強さ245N以上, 色は白で旗生地と同系色とする。		
縫糸	本縫い用	JIS Z 2511 ポリエステルフィラメン	#40(3コード)	色は白及び赤で旗生地と同系色とする。
	補強縫用	トミシン糸	#30(3コード)	色は白で旗生地と同系色とする。
	旗ひも取付け糸		#8(6コード)	
牛皮	部隊用	幅約4.5cm	長さ約14cm, 厚さ0.1cm以上銀付	
	両端補強用 かん頭保持用	幅約1.5cm		
ひも通し袋生地	祝日用	綿混紡, 2/1あや織, 番手(たて, よこ)16 ^s , 密度(本/2.5cm間)たて75, よこ55	色は白で旗生地と同系色とする。	
	通常用, 荒天用	ナイロンタフタ		
附属品	部隊用, 組	表6による。		

を

区分		規定		
旗生地		付表 1 による。		
旗ひも	祝日用, 通常用, 荒天用	綿組打ちひも	直径約 0.6 cm	
	部隊用		直径約 0.4 cm	
ナイロンテープ	通常用, 荒天用	幅約 0.9 cm, 引張強さ 245N 以上, 色は白で旗生地と同系色とする。		
縫糸	本縫用	JIS Z 2511 ポリエステルフィラ	# 40 (3コード)	色は白及び赤で旗生地と同系色とする。
	補強縫用	メントミシン糸	# 30 (3コード)	色は白で旗生地と同系色とする。
	旗ひも取付け糸		# 8 (6コード)	
牛皮	部隊用	幅約 4.5 cm	長さ約 14 cm, 厚さ 0.1 cm 以上銀付	
	両端補強用 かん頭保持用	幅約 1.5 cm		
ひも通し袋生地	祝日用	綿混紡, 2/1 あや織, 番手 (たて, よこ) 16 ^s , 密度 (本/2.5 cm 間) たて 75, よこ 55		色は白で旗生地と同系色とする。
	通常用, 荒天用	ナイロンタフタ		
附属品	部隊用, 組	表 6 による。		

に改める。

2.2.2 表 3 中

“a) ナイロンテープを入れて補強のうえ、” を “a) ナイロンテープを入れて補強のうえ、” に、
“旗ひも取付け糸で日ひも通し袋に止め縫いとする。” を “旗ひも取付け糸でひも通し袋に止め縫いとする。” に、
“下部は端から旗の立て寸法の約 1/2 の長さとする。” を “下部は端から旗の縦寸法の約 1/2 の長さとする。”
に改める。

4.1 表 5 中

“付属品” を “附属品” に改める。

4.2 外装の表示 中

“e) 納入年月日” を “e) 納入年月” に、
“例 2019年3月” を “例 2023年3月” に改める。

5.1 を次のように改める。

5.1 承認用見本

契約の相手方は、製造に先立ち、承認用見本として製品 1 枚（調達品に附属品が含まれる場合は、当該附属品 1 組を含む。）を契約担当官等に提出し、外観及び色について承認を得なければならない。

5.2 表 6 中

“8345-160-4283-5” を “8345-160-4183-5” に改める。

付表1－旗生地 中

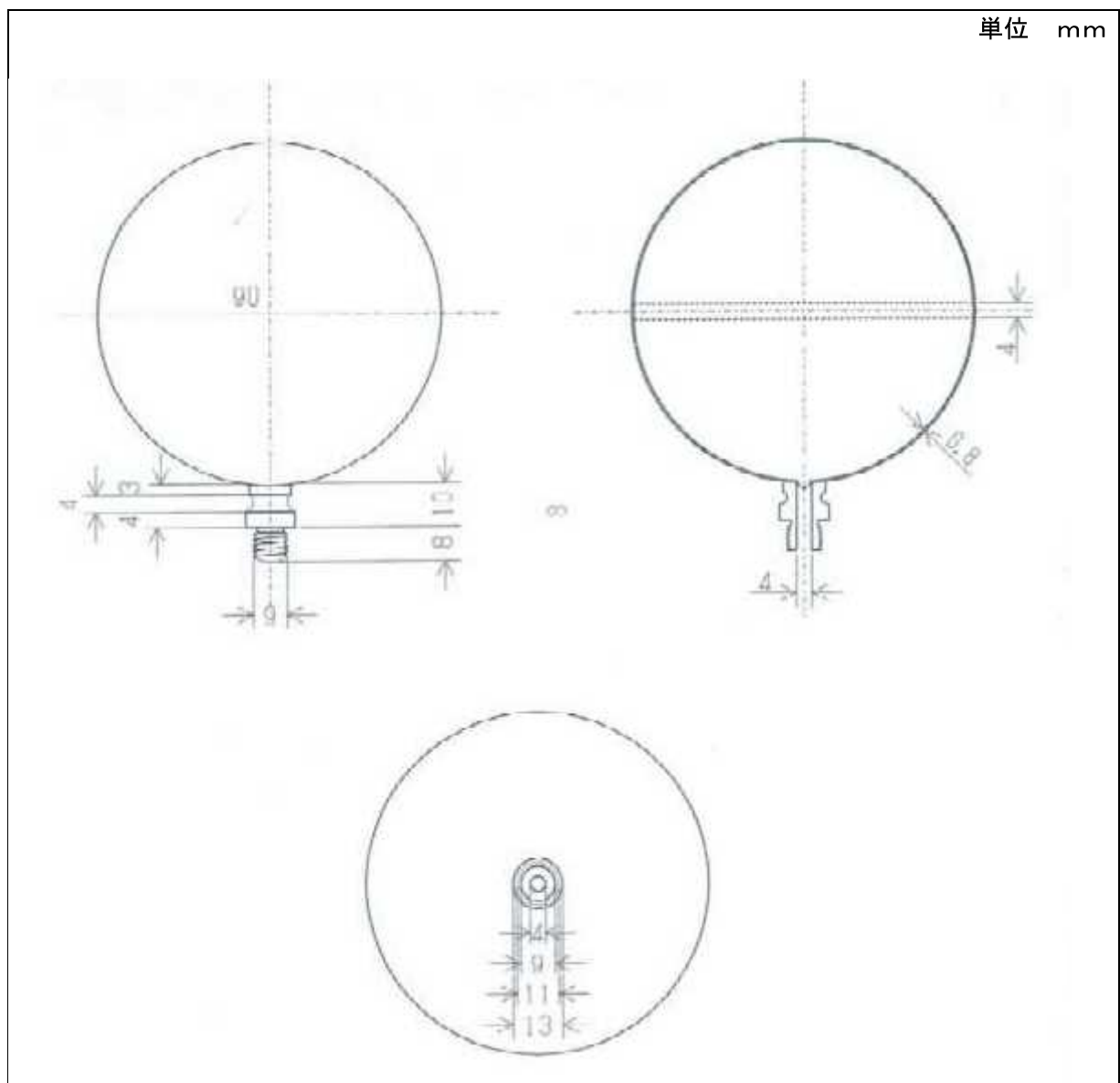
“ ”

項目			規定		試験方法
			アクリル生地	ナイロン生地	
~~~~~					
色	日の丸	赤	5.7R 3.7 / 15.5	6.2R 4.0 / 15.2	J I S Z 8 7 2 1による。
	白地	白	N9.4	N9.2	
~~~~~					
染色堅ろう度	耐光	4級以上			J I S Z 0 8 4 2の第3露光法による。
	摩耗				J I S Z 0 8 4 9の摩擦試験機Ⅱ形の乾燥試験による。
	洗濯				J I S Z 0 8 4 4のA-2号による。
	海水				J I S Z 0 8 4 7による。
色差		標準色に対し、 $\Delta E 0.5$ 以下			J I S Z 8 7 8 1-4のL*a*b*の表色系による。 ただし、色差測定は公益財団法人日本繊維検査協会の色差計で行うものとする。
<p>注記1 色は、標準を示し5.1の承認による。</p> <p>注記2 白地は、漂白加工を行うものとする。</p> <p>注記3 染色堅ろう度は、日の丸に用いる生地に適用する。</p>					

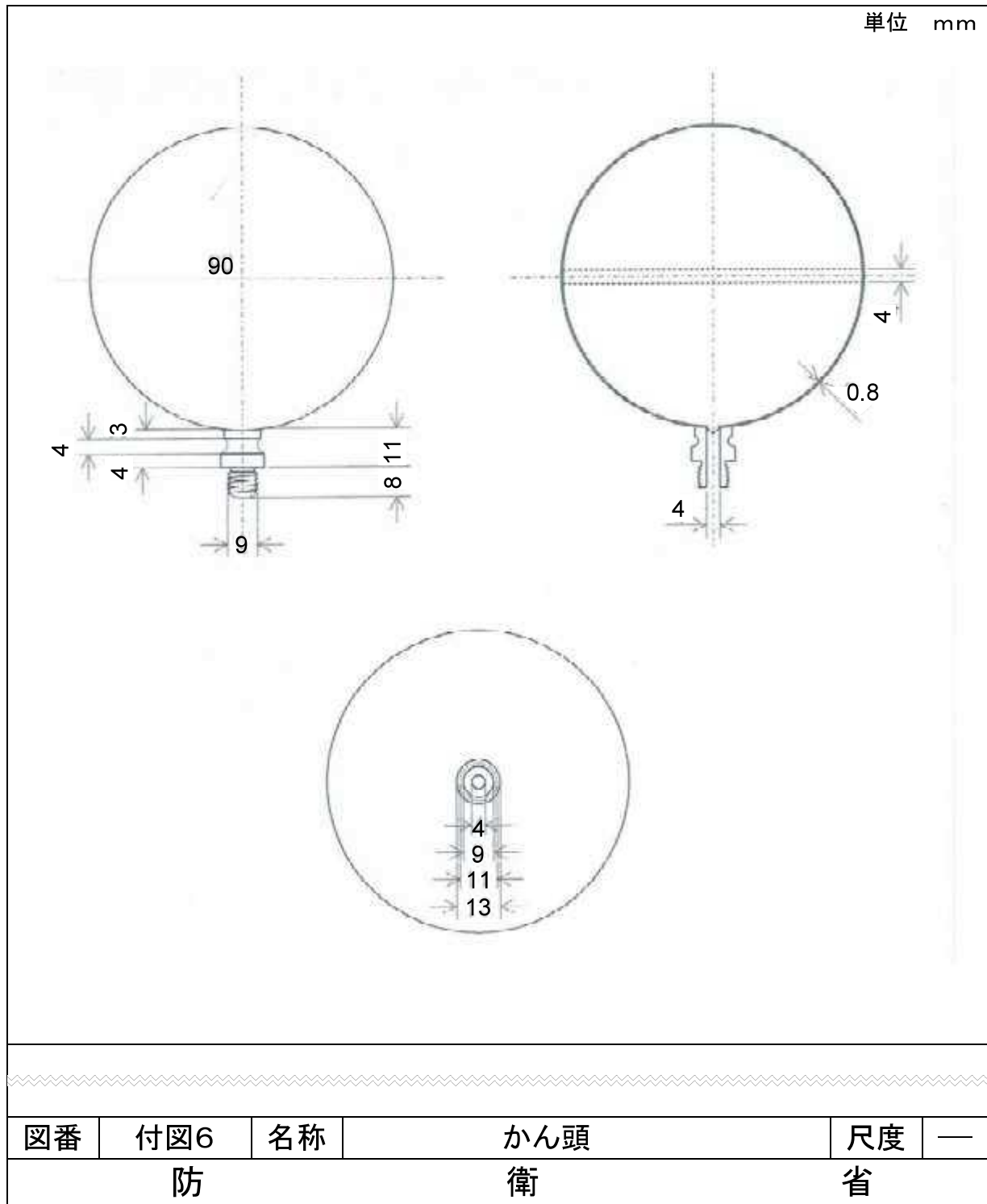
を “ ”

項目			規定		試験方法
			アクリル生地	ナイロン生地	
~~~~~					
色	日の丸	赤	5.7R 3.7 / 15.5	6.2R 4.0 / 15.2	J I S Z 8 7 2 1による。
	白地	白	N9.4	N9.2	
~~~~~					
染色堅ろう度	耐光	4級以上			J I S L 0 8 4 2の第3露光法による。
	摩耗				J I S L 0 8 4 9の摩擦試験機Ⅱ形の乾燥試験による。
	洗濯				J I S L 0 8 4 4のA-2号による。
	海水				J I S L 0 8 4 7による。
色差		標準色に対し、 $\Delta E 0.5$ 以下			J I S Z 8 7 8 1-4のL*a*b*の表色系による。 ただし、色差測定は公益財団法人日本繊維検査協会の色差計で行うものとする。
<p>注記1 色は、標準を示し5.1の承認による。</p> <p>注記2 白地は、漂白加工を行うものとする。</p> <p>注記3 染色堅ろう度は、日の丸に用いる生地に適用する。</p>					

に改める。



図番	付図6	名称	かん頭	尺度	—
	防		衛	省	



に改める。

6.

Z 8701F(2)

付図7ー保持用バンド 中

“ ”

単位 mm					
注記1 寸法は、標準を示す。 注記2 許容差±1mm	7	びょう	鉄製, 頭部は, 黒色仕上げ		
	6	バックル めす	鉄製又は鋳物, 金色仕上げ		
	5	バックル おす			
	4	バックル保護皮	牛皮, 黒, 2枚合わせ, t3mm上		
	3	遊皮	牛皮, 黒, t1.5mm以上		
	2	さお受け筒	牛皮, 黒, 2枚合わせ, tmm以上		
	1	本体			
	番号	品名	材質		
図番	付図7	名称	保持用バンド	尺度	—
防		衛		省	

を
“ ”

単位 mm					
注記1 寸法は、標準を示す。 注記2 許容差±1mm	7	びょう	鉄製, 頭部は, 黒色仕上げ		
	6	バックル めす	鉄製又は鋳物, 金色仕上げ		
	5	バックル おす			
	4	バックル保護皮	牛皮, 黒, 2枚合わせ, t3mm上		
	3	遊皮	牛皮, 黒, t1.5mm以上		
	2	さお受け筒	牛皮, 黒, 2枚合わせ, t3mm以上		
	1	本体			
	番号	品名	材質		
図番	付図7	名称	保持用バンド	尺度	—
防		衛		省	

に改める。

防衛省仕様書

D S P
Z 8701F

国旗

制定 昭和 48. 11. 27
改正 平成 31. 1. 9

(FLAG, NATIONAL)

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、国旗について規定する。

1.2 種類

種類は、表 1 による。

表 1 - 種類

種類	物品番号	生地
祝日用	8345-311-3394-5	アクリル
通常用	8345-311-3393-5	ナイロン
荒天用	8345-311-3392-5	
部隊用	8345-311-3396-5	アクリル
部隊用, 組	8345-311-3395-5	

1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書の名称及び種類による。

例 国旗, 祝日用

1.4 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

- J I S L 0 8 4 2 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
J I S L 0 8 4 4 洗濯に対する染色堅老度試験方法
J I S L 0 8 4 7 海水に対する染色堅老度試験方法
J I S L 0 8 4 9 摩耗に対する染色堅老度試験方法
J I S L 1 0 3 0 - 1 繊維製品の混用率試験方法 - 第1部: 繊維鑑別
J I S L 1 0 3 0 - 2 繊維製品の混用率試験方法 - 第2部: 繊維混用率
J I S L 1 0 9 5 一般紡績糸試験方法
J I S L 1 0 9 6 織物及び編物の生地試験方法
J I S L 2 5 1 1 ポリエステル縫糸
J I S Z 1 5 0 6 外装用段ボール箱
J I S Z 8 7 2 1 色の表示方法 - 三属性による表示
J I S Z 8 7 8 1 - 4 測色 - 第4部: CIE1976L*a*b*色空間
N D S L 0 1 0 1 縫製用語
N D S Z 0 0 0 1 包装の総則

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表 2 による。

表 2 - 材料

区分		規定		
旗生地		付表 1 による。		
旗ひも	祝日用, 通常用, 荒天用	綿組打ちひも	直径約0.6cm	
	部隊用		直径約0.4cm	
ナイロンテープ	通常用, 荒天用	幅約0.9cm, 引張強さ245N以上, 色は白で旗生地と同系色とする。		
縫糸	本縫い用	J I S Z 2 5 1 1 ポリエステルフィラメン	#40(3コード)	色は白及び赤で旗生地と同系色とする。
	補強縫用	トミシン糸	#30(3コード)	色は白で旗生地と同系
	旗ひも取付け糸		#8(6コード)	色とする。
牛皮	部隊用	両端補強用	幅約4.5cm	長さ約14cm, 厚さ0.1cm以上銀付
		かん頭保持用	幅約1.5cm	
ひも通し袋生地	祝日用	綿混紡, 2/1あや織, 番手(たて, よこ)16 ^S , 密度(本/2.5cm間)たて75, よこ55		色は白で旗生地と同系色とする。
	通常用, 荒天用	ナイロンタフタ		
附属品	部隊用, 組	表 6 による。		

2.2 加工

2.2.1 裁断

裁断は、適切に行うものとする。

2.2.2 縫製要領

縫製要領は、次による。

a) 一般要領

- 1) 糸調子, 縫い目が優良で, 縫いとび及び縫い外れがなく, 縫い目曲がりが目立たないものとする。
- 2) 各部の縫い合わせは優良なものとする。
- 3) 旗生地のはぎは, 均等になるように流れ方向に配置するものとする。
- 4) 縫い初め及び縫い終りは, 完全に返し縫いを行うものとする。
- 5) 針数は, 3cm間の表面に現れた縫い目数とし, 本縫い12~13針以上, 補助縫い及び皮縫いは8~9針以上とする。
- 6) 力布のはぎは, 認めない。

b) 細部要領

細部要領は、表 3 によるほか, 付図 1 ~ 4 による。

表3－細部要領

区分 項目	通常用	荒天用	祝日用	部隊用
はぎ	折り伏せ三条縫いとする。 ^{a)}	—	折り伏せ三条縫いとする。	—
日の丸	折り伏せ三条縫いとする。			
力布	旗の縦寸法の約 $\frac{1}{10}$ を1片とする三角形の共生地を、旗付け側の両端に伏せ縫いで二条縫いとする。			—
補強縫い	旗の流れ方向の両端に、付図4のとおり補強縫いとする。		—	
縁縫い (旗付け側を除く三方)	<p>a) ナイロンテープを入れて補強のうえ、三つ折りにし(織耳を使用の場合は、二つ折りでも可)四条縫いとする。</p> <p>b) 仕上がり幅は、約1cmとする。</p>		<p>a) 三つ折り(織耳を使用の場合は、二つ折りでも可)三条縫いとする。</p> <p>b) 仕上がり幅は、約1cmとする。</p>	
旗付け	<p>a) ひも通し袋生地を二つ折りにして、折り返しは1cm以上とり、旗生地を2cm以上入れて三条縫いとする。</p> <p>b) 仕上がり幅は約3cmとし、ひも通し部はひもが2本入る余裕をとるものとする。</p>		<p>a) ひも通し袋生地を二つ折りにして、折り返しは1cm以上とり、旗生地を2cm以上入れて二条縫いとする。</p> <p>b) 仕上がり幅は約3.5cmとし、ひも通し部はひもが2本入る余裕をとるものとする。</p>	
旗ひもの旗付け	<p>a) 旗ひもをひも通し袋に通し、下部を止め縫いとする。</p> <p>b) 旗ひもの長さは、上部は端から約10cm(祝日用及び通常用は約15cm)とし、下部は端から旗の立て寸法の約$\frac{1}{2}$の長さとする。</p>			旗ひもは、かん頭を取付けるのに支障がないものとする。
注 ^{a)} N D S L O 1 0 1 による。				

2.2.3 仕上げ

仕上げは糸くずを取り除き、丁寧に仕上げるものとする。

2.3 外観・形状・寸法

外観、形状及び寸法は、次による。

2.3.1 外観

外観は、加工方法が優良で、きず、汚れ、その他の欠点が目立たないものとする。

2.3.2 形状

形状は、付図 1～10を標準とする。

2.3.3 寸法

寸法は、表 4 によるほか、付図 1～10による。

表 4 一寸法

単位 cm

区分	寸法			
	縦	横	日の丸直径	許容差
祝日用	172	258	103.2	±3%
通常用	129	193.5	77.4	
荒天用	86	129	51.6	
部隊用	92.4	138.6	55.4	

3 品質保証

3.1 監督・検査

検査は、契約担当官等の定める監督及び検査実施要領による。

4 出荷条件

出荷条件は、次による。

4.1 包装

包装は、表 5 によるほか、商慣習によるものとし、端数がある場合はこれに準じて行う。

表 5 一包装

区分		規定	要領
包装	材料		
個装	ポリエチレン袋	厚さ0.05mm以上	旗1枚をポリエチレン袋に、物品番号及び製品の呼び方を明記した紙片と共に入れる。付属品については、商慣習による。
外装	段ボール箱	JIS Z 1506 両面段ボール箱	a) 個装した10枚をひも又はテープで結び、5束を両面段ボール箱に収納する。
	包装用テープ	—	b) 包装用テープで上下面ともH形に封かんし、包装用バンドを二の字に掛け締め付ける。
	包装用バンド	—	

4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識によるほか、調達要領指定書による場合を除き、輸送諸元を1面に、次に示す項目を2面及び5面に行うものとする。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号

- c) 品名(製品の呼び方)
 d) 数量
 e) 納入年月日
 例 2019年3月
 f) 契約の相手方の名称又はその略号

5 その他の指示

5.1 承認用見本

契約の相手方は、製造に先立ち、承認用見本として製品1枚(調達品に付属品が含まれる場合は、当該付属品1組を含む。)を契約担当官等に提出し、外観及び色について承認を得なければならない。

5.2 附属品

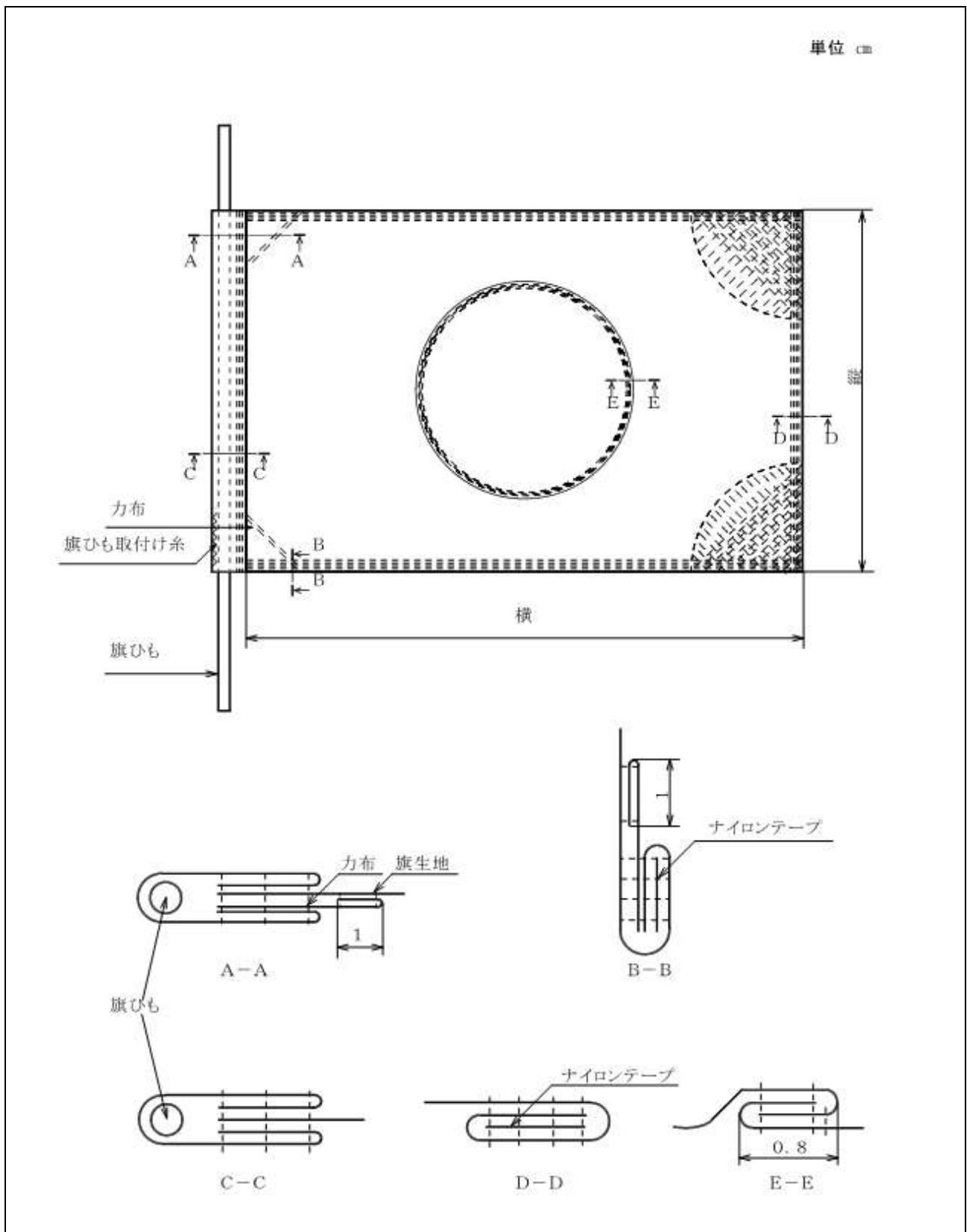
種類の部隊用、組の附属品は、表6によるものとする。

表6－附属品

物品番号	名称	数量	規定		
8345-160-6134-5	旗ざお	1	かし材	付図5を標準とする。	縫目なしのかし材とし、黒漆塗り千段巻きとする。
8345-160-4283-5	かん頭	1	黄銅	付図6を標準とする。	金色めっき仕上げとする。
8345-160-6027-5	保持用バンド	1	牛皮	付図7を標準とする。	色は、茶又は黒とする。
8345-160-6025-5	三脚架	1	鉄	付図8を標準とする。	脚及び脚保護板ともクロムめっきを施すものとする。
8345-161-5592-5	覆い袋	1	表地は、綿布又はビニロン綿混紡織物。裏地は、綿布。紫ふさは人絹。	付図9を標準とする。	表地の綿布はあや織りかつらぎ(葛城)とし、白色とする。覆い袋には、房ひもをつけるものとする。裏地の綿布は120本の細布とする。
8345-161-5591-5	保管箱	1	きり材	付図10を標準とする。	形状は、印ろう形とする。

付表1－旗生地

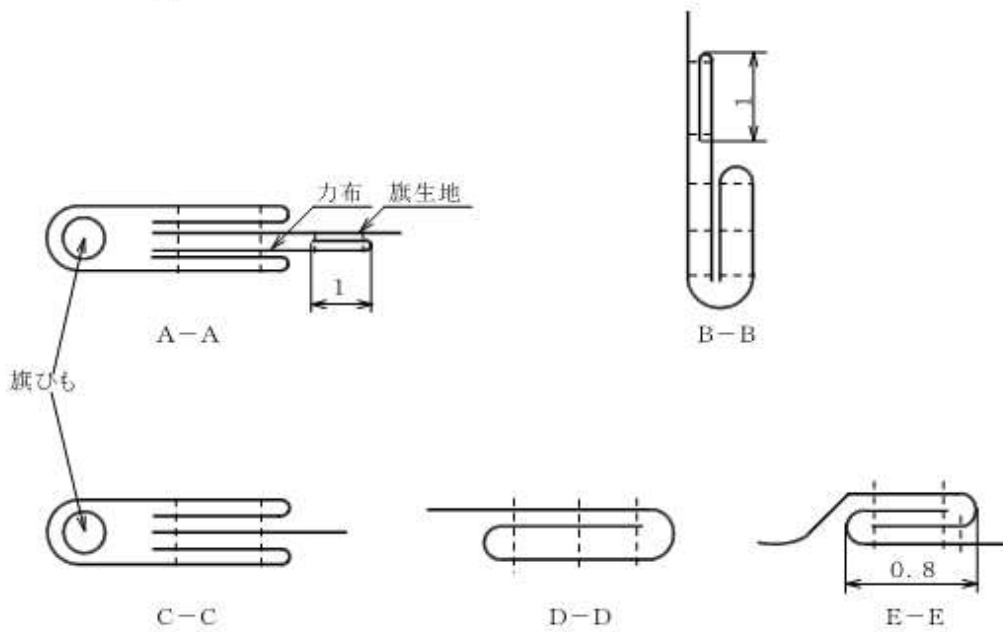
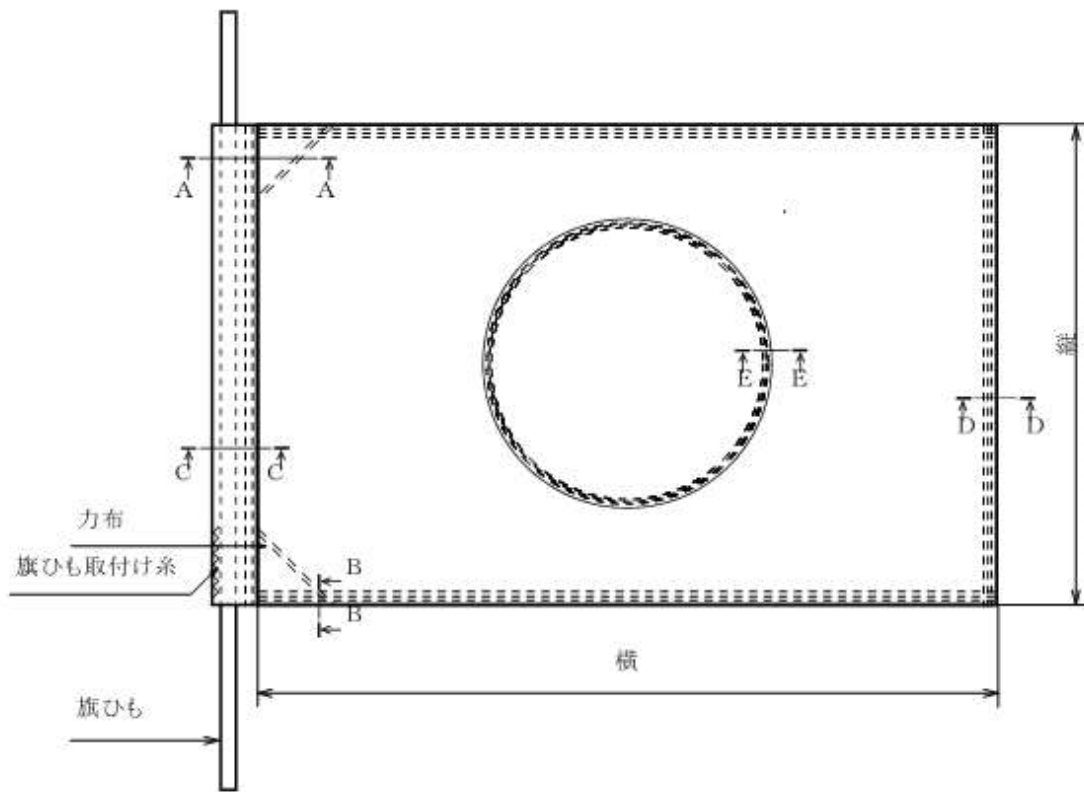
項目		規定		試験方法	
		アクリル生地	ナイロン生地		
原糸	%	アクリル100(ダル糸)	ナイロン100(ブライド糸)	JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。	
番手又は織度	たて	1/20	121dtex/2 600回以上 Zより 77dtex 600回以上 Sより 550回以上 Sより	} を JIS L 1095による	
	よこ				
組織		平織		JIS L 1096のA法による。	
幅	m	1.45以上	0.95以上		
長さ	m	50以上	45以上		
質量	g/m ²	180以上	120以上		
密度	たて 本/2.54 cm	42以上	43以上		
寸法変化率	たて	±3		JIS L 1096のD法による。	
	よこ				
引長率	たて	539以上	1300以上	JIS L 1096のA法による。	
	よこ				
伸び率	%	たて —	よこ 65以下		
色	日の丸	赤	5.7R 3.7. /15.5	6.2R 4.0/15.2	JIS Z 8721による。
	白地	白	N9.4	N9.2	
染色堅牢度	耐光	4級以上		JIS Z 0842の第3露光法による。	
	摩擦			JIS Z 0849の摩擦試験機II形の乾燥試験による。	
	洗濯			JIS Z 0844のA-2号による。	
	海水			JIS Z 0847による。	
色差		標準色に対し、△E0.5以下		JIS Z 8781-4のL*a*b*の表色系による。 ただし、色差測定は公益財団法人日本繊維検査協会の色差計で行うものとする。	
<p>注記1 色は、標準を示し5.1の承認による。</p> <p>注記2 白地は、漂白加工を行うものとする。</p> <p>注記3 染色堅牢度は、日の丸に用いる生地適用する。</p>					



注記 1 日の丸の中心は、旗面の中心とする。
 注記 2 寸法は、標準を示す。

図番	付図1	名称	国旗, 通常用・荒天用	尺度	—
防			衛	省	

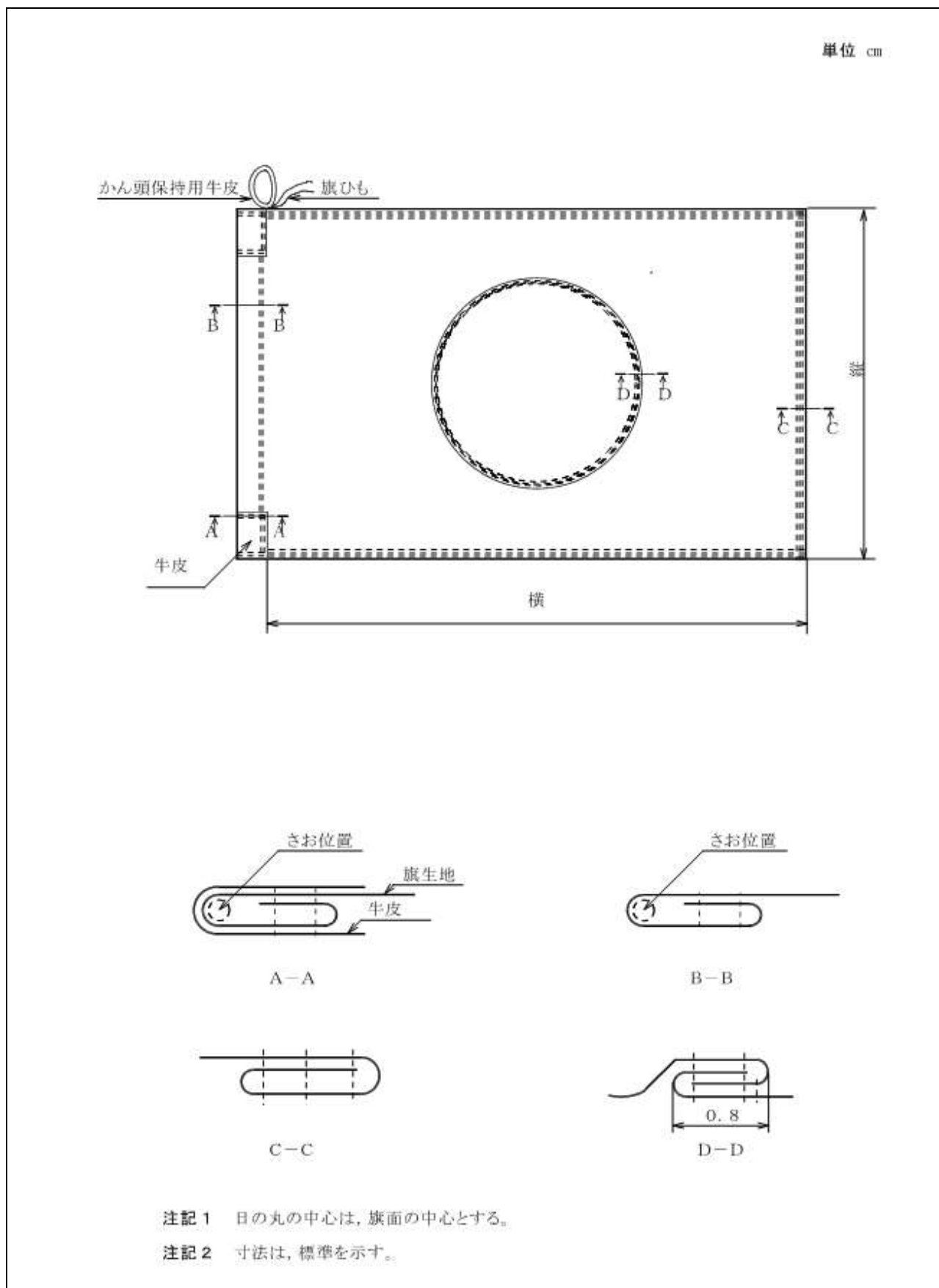
単位 cm



注記 1 日の丸の中心は、旗面の中心とする。

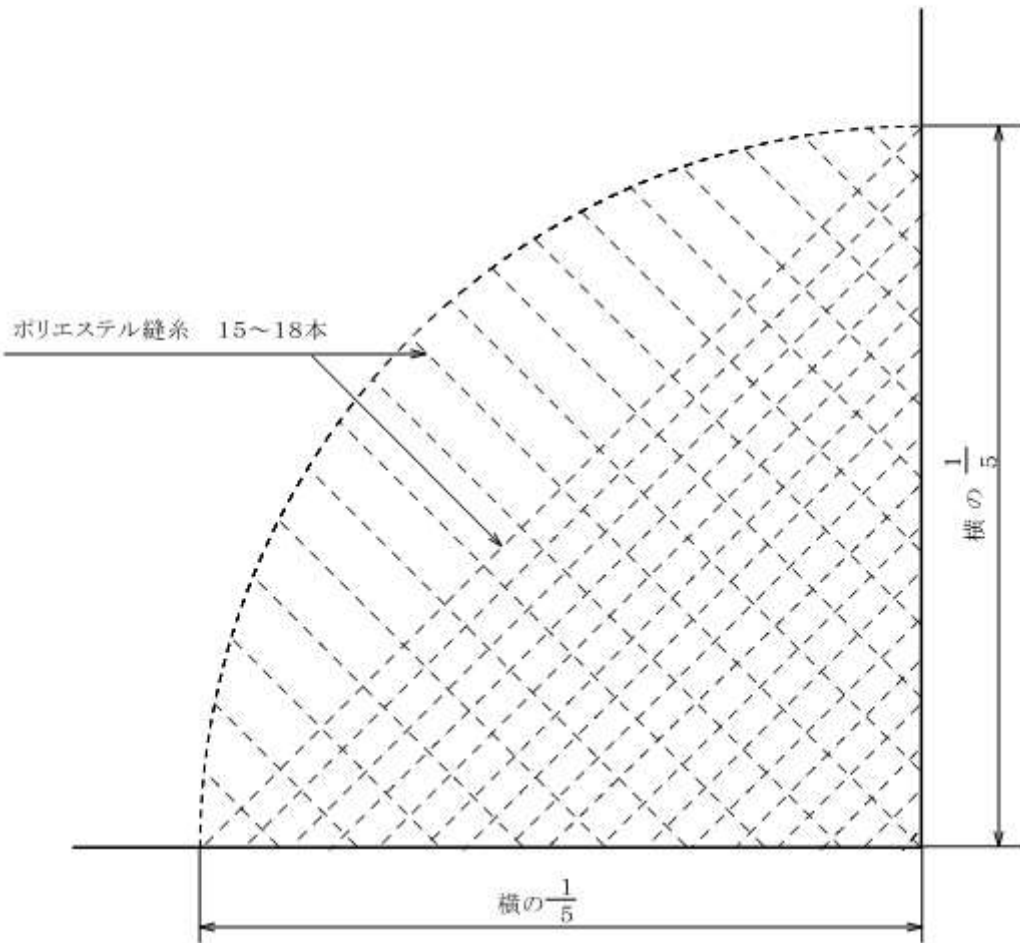
注記 2 寸法は、標準を示す。

図番	付図2	名称	国旗, 祝日用	尺度	—
	防		衛	省	



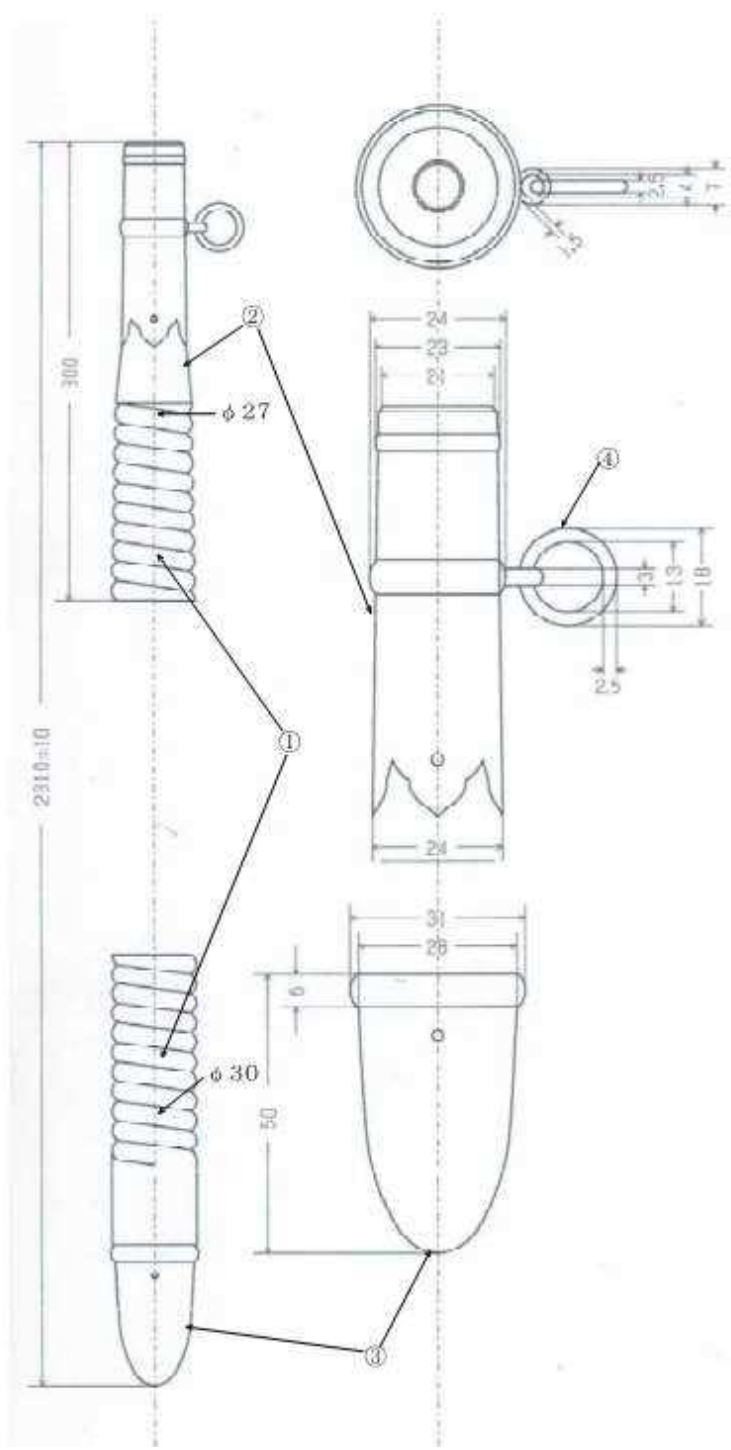
図番	付図3	名称	国旗, 部隊用	尺度	—
	防		衛	省	

単位 cm



図番	付図4	名称	両端の補強縫い	尺度	—
	防		衛	省	

単位 mm



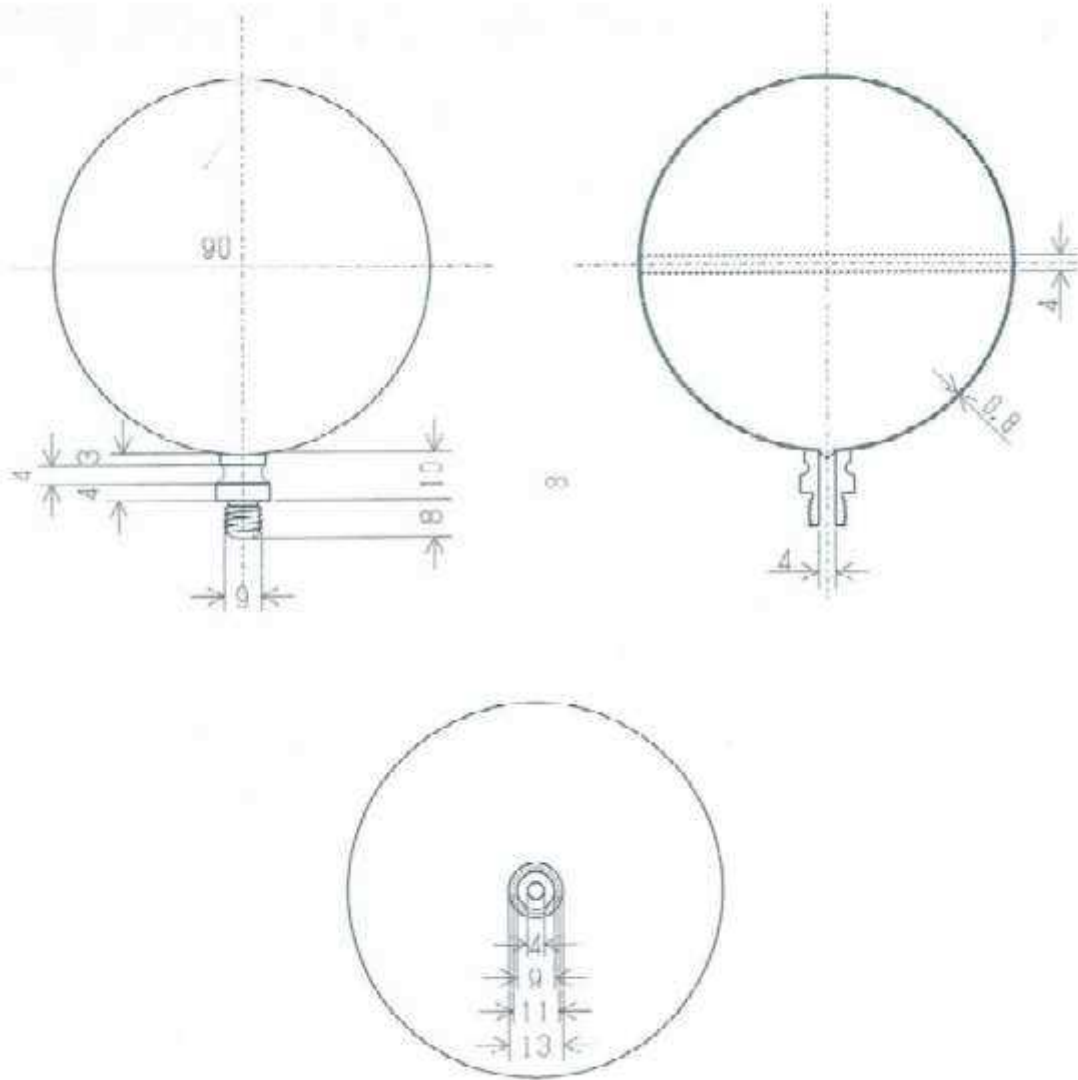
注記 1 寸法は、標準を示す。

注記 2 許容差±3%

4	取付金	黄銅
3	石突き	青銅鑄物, ニッケルめっき同等以上
2	先金	黄銅
1	さお	かし材, 乾燥した無節材, 継ぎ目なし, 黒うるし塗り
番号	品名	材質

図番	付図5	名称	旗さお	尺度	—
	防		衛		省

単位 mm

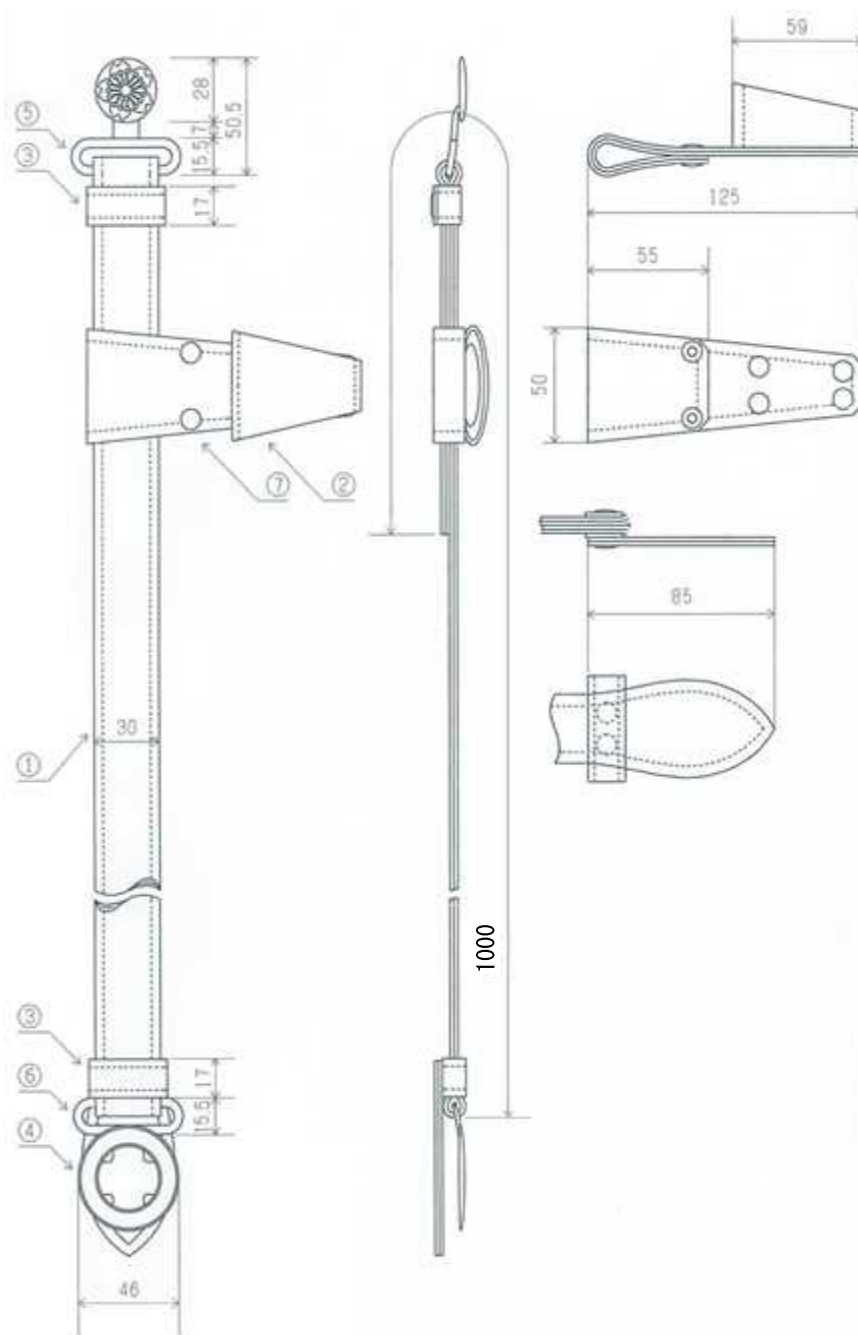


- 注記 1 溶接は外から見えないものとする。
- 注記 2 球体のゆがみがあってはならない。
- 注記 3 ねじ部は、さおに合わせる。
- 注記 4 寸法は、標準を示す。
- 注記 5 許容差±3%

1	本体	黄銅 t0.6mm
番号	品名	材質

図番	付図6	名称	かん頭	尺度	—
	防	衛	省		

単位 mm



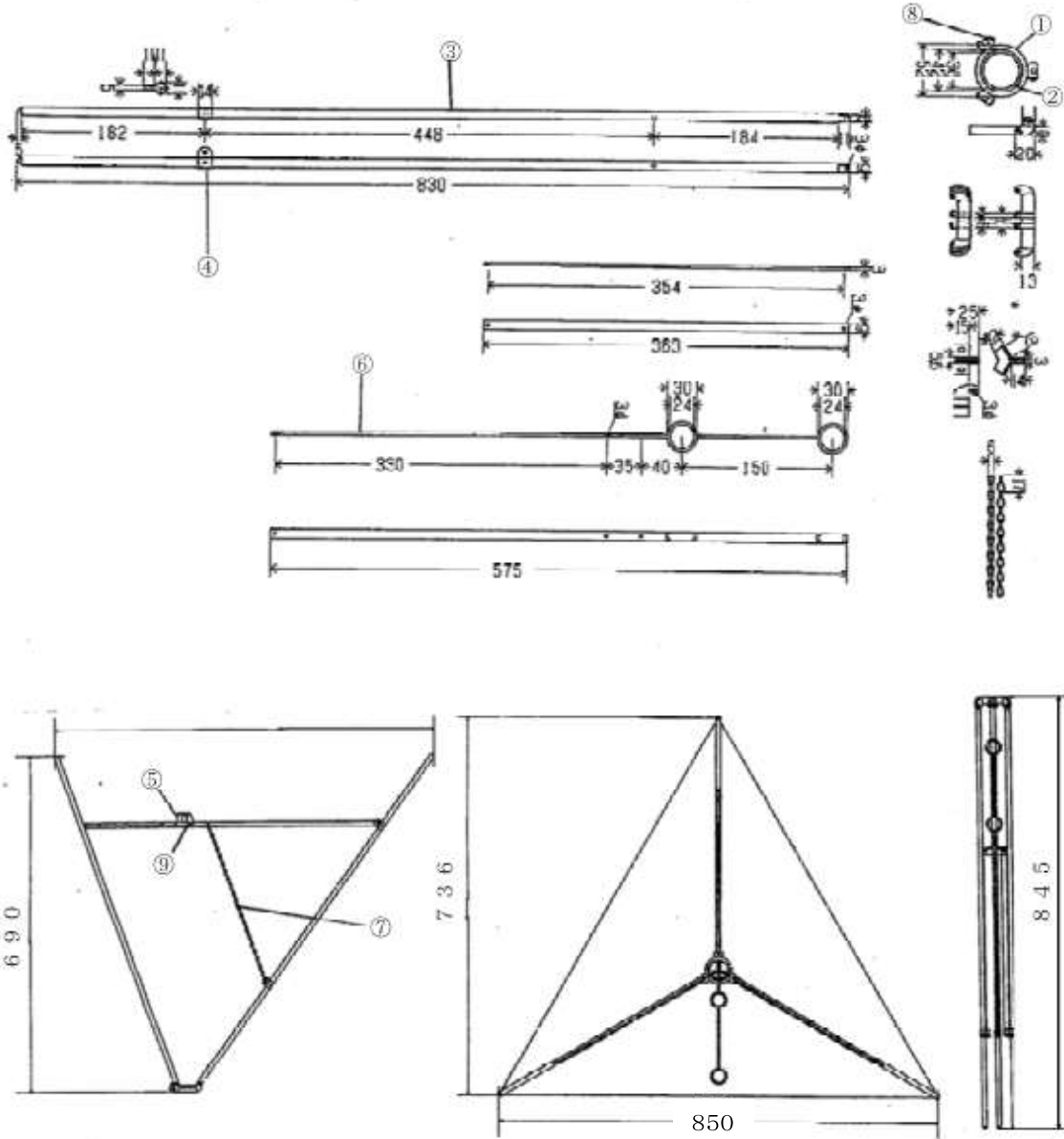
注記1 寸法は、標準を示す。

注記2 許容差±1mm

7	びょう	鉄製、頭部は、黒色仕上げ
6	バックル めす	鉄製又は鋳物、金色仕上げ
5	バックル おす	
4	バックル保護皮	牛皮、黒、2枚合わせ、t3mm上
3	遊皮	牛皮、黒、t1.5mm以上
2	さお受け筒	牛皮、黒、2枚合わせ、tmm以上
1	本体	
番号	品名	材質

図番	付図7	名称	保持用バンド	尺度	—
	防		衛	省	

単位 mm



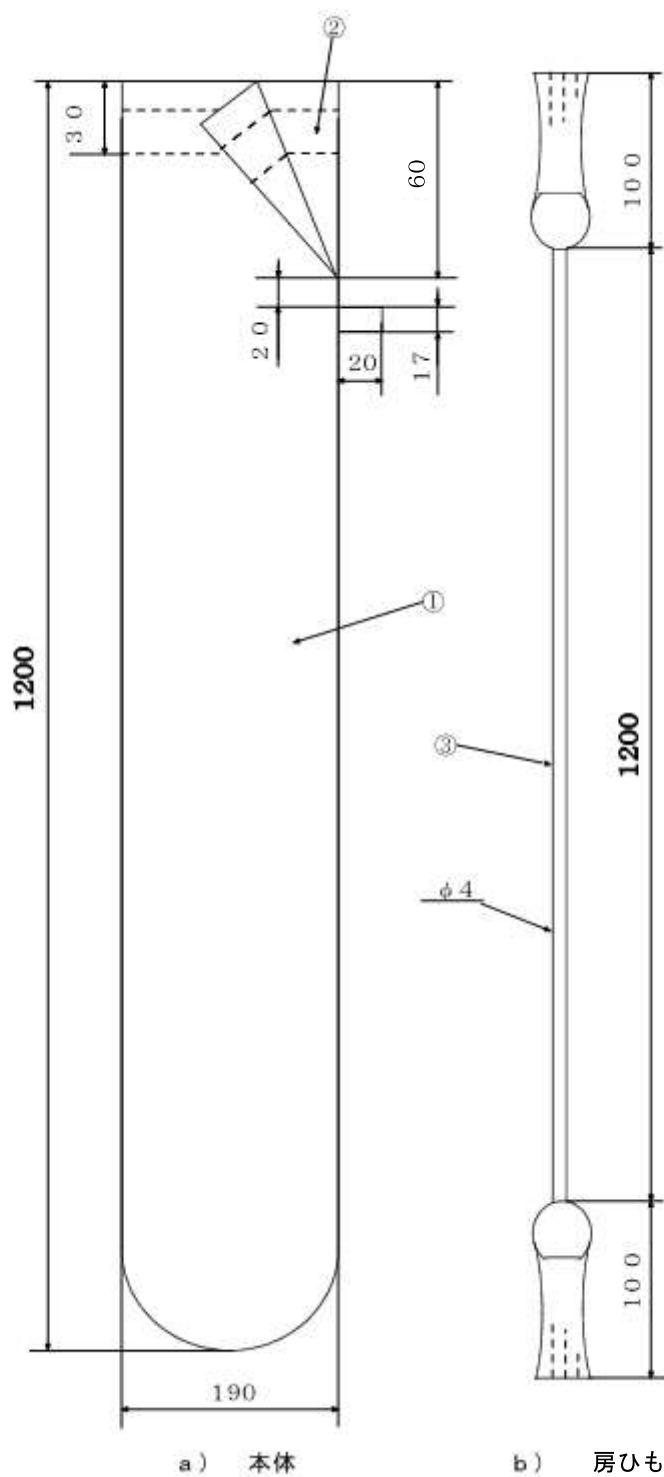
注記 1 寸法は、標準を示す。

注記 2 許容差±3%

9	リベット	銅製
8	リベット	アルミニウム製
7	鎖	鉄板, ユニクロめっき
6	さお受脚	鋼材, ニッケルめっき同等以上
5	さお受脚止金	鉄, ニッケルめっき同等以上
4	脚止金	鋼板, t=1mm
3	脚	鋼材, 丸棒φ9mm, クロムめっき
2	ゴム輪	ゴム(黒色)
1	脚頭	黄銅铸件, ニッケルめっき同等以上
番号	品名	材質

図番	付図8	名称	三脚架	尺度	—
防		衛		省	

単位 mm



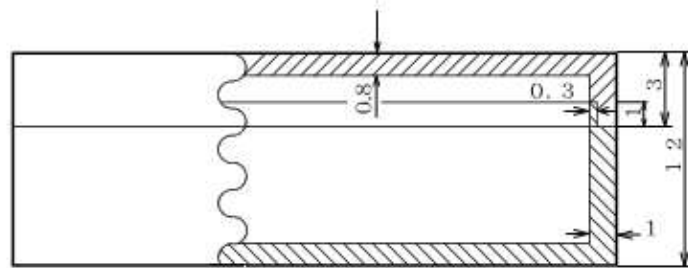
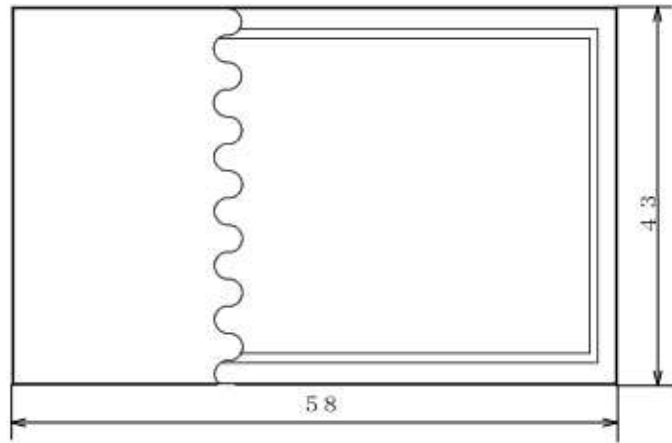
注記 1 寸法は、標準を示す。

注記 2 許容差±3%

3	房ひも	人絹, 紫色
2	裏地	#2023, 未晒
1	本体	#2054, 葛城, 晒
番号	品名	材質

図番	付図9	名称	覆い袋	尺度	—
防		衛		省	

単位 cm



注記 1 寸法は、標準を示す。

注記 2 許容差±3%

図番	付図10	名称	保管箱	尺度	—
防		衛		省	